

運転者と添乗員の疫病予防作業の流れ

目 次

1. 出勤の前の準備
2. 登校の前の準備
3. 児童・生徒のマスク着用検査と体温検査
4. 車両の通風
5. 登校の後、車両の清掃消毒
7. 下校の前の準備
8. 下校の後、車両の清掃消毒

運転者と添乗員の疫病予防作業の流れ

1. 運転者は出勤の前の体温検査と出車前の検査をしっかりと行い、車内のサービス施設が完備していることを確保します。体温測定設備が正常かどうか、車の窓などの通風設備を開けて、車内の空気の流れを確保します。
2. 添乗員は生徒名簿と乗車生徒の体温測定記録表を受け取ります。保護者の WeChat グループを利用して、生徒が自宅で体温を測ってから乗車するよう保護者に促します。
3. 登校中では、車が駅や学校に到着すると、添乗員が車を降りて作業し、運転者はすぐにドアを閉めます。添乗員は車の下で生徒のマスクの着用状況と体温を検査し、乗車生徒名簿と体温測定記録表をしっかりと記入し、該当バス停の乗車生徒達に異常がないことを確認し、生徒をキレイに並べて乗車させる。もし生徒の体温が 37.2℃を超えることを発見したら、このバス停のすべての生徒はその場で待機し、車の添乗員と保護者連絡し、状況を学校に報告し、学校の流れに沿って管理職に報告します。
4. 登校中と下校中では、運転者はマスクを全行程着用し、会社の

疫病予防期間の規定に従って車両の正常な送迎状況を維持し、生徒が全員降りた後に、窓を開けて車内に換気し、「一班一通風」を実現し、車内の空気の流れを維持する。

5. 登校の後、運転者は学校の駐車場の従業員に協力して体温検査を行います。車両の内外を全面的に消毒し、ハンドル、スイッチボタンなどのよく接触部位と乗車生徒が接触しやすい座席、手すりなどの部位を重点的に消毒し、消毒記録をしっかりと行います。
6. 下校の前に、運転者は車両の通風作業をしっかりと行い、車内の空気の流れを維持し、車内のサービス施設が完備していることを確認します。
7. 下校の後、運転者は学校の駐車場の従業員に協力して体温検査を行います。車両の内外を全面消毒し、消毒記録をしっかりと行います。当日運行中の疫病予防状況に関する重点内容を報告します。